

2-1. 単位制度のあらましと履修登録の上限

履修は、講義全てに出席し、かつ十分な予習復習ができるように計画することが大切です。進級条件・卒業要件を満たすことを最優先し、以下の制限内で一年間の履修単位を決めてください。

- (1) 春学期秋学期各々について30単位を超えて履修登録することはできません。通年科目については、春学期・秋学期半分ずつに分けて、履修上限単位を計算するようにしてください。
- (2) 年間の合計が49単位を超えて履修登録することはできません。
- (3) 2年次以降は上記を基準とし、前年度までの累積GPAが3.0以上の学生は年間60単位まで履修できます。
- (4) インターンシップ、科学技術コミュニケーション演習(SAプログラム)、卒業要件とならない入門数学、入門物理学、教職科目や文系資格(図書館司書等)科目は、履修制限の対象外となります。

2-2. 進級条件・卒業要件、履修上の留意点

進級・卒業するためには、以下の要件を1単位も漏らすことなく、すべて満たさなければなりません。また、該当学年の進級条件だけを満たすのではなく、卒業にむけて計画的な履修計画を立てることが大切です。

(機械工学専修：2019年度～2022年度以降入学者用)

(航空操縦学専修：2019年度～2022年度以降入学者用)

		教養系科目			専門科目		公開選択科目	合計
		英語科目	教養科目 (人文・社会・自然科学系 スポーツ健康科学系 選択語学系 リテラシー系)	理系教養科目 (数学系・理科系)	自学科 専門科目	他学科 専門科目		
1年次	2年への進級条件							30単位以上
	履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・少なくとも36単位以上の修得を目指すこと。 ・配当年次の必修科目は必ず履修登録すること。 						
2年次	3年への進級条件							64単位以上
	履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次修得単位と2年次修得単位の合計として、少なくとも72単位以上を目指すこと。 ・配当年次の必修科目は必ず履修登録すること。 						
3年次	4年への進級条件	8単位						90単位以上
	履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・1-2年次修得単位と3年次修得単位の合計として、少なくとも108単位以上を目指すこと。 ・配当年次の必修科目は必ず履修登録すること。 						
4年次	卒業要件	8単位	12単位以上	12単位以上 (機械工学専修: 必修2単位を含む) (航空操縦学専修: 必修4単位を含む)	62単位以上 (機械工学専修: 必修42単位を含む) (航空操縦学専修: 必修46単位、選択必修 16単位以上を含む)			124単位以上
		計 32単位以上			計 80単位以上		計 12単位以下	

※ 卒業要件について:教養系科目の合計32単位と、専門科目の合計80単位の修得だけでは、合算が卒業要件の124単位を満たすことができません。したがって、さらに12単位分を教養系科目・専門科目・公開選択科目から修得してください。

※ 進級基準を満たさなかったために留級となった機械工学専修の学生と2019年度に航空操縦学専修に入学した学生(前年度休学したことにより、留級したものは除く)は、本学科が主催する1学年上の選択科目、選択必修科目(航空操縦学専修の場合のみ)を履修することができます(必修科目、機械工学ゼミナールⅠ・Ⅱ、卒業研究は履修できません)。ただし、この履修単位は進級に必要な単位として認められないので注意してください。

※ GPA制度の活用により、ポイントの少ない学生には、進級条件にかかわらず、本人並びに保証人に対して履修指導を行います。